

オーシャンボウル第25回大会記念交流戦 ゲームレポート

2014年2月に北海道社会人対九州社会人の試合予定が組まれていたものの、雪により中止となつてから5年、出場チームは変わったもののように今回対戦が実現しました。

イーグルスのキックで試合開始、マーベアーズのリターナーがマフ、いきなりターンオーバーかと思われたが、マーベアーズがリカバー。マーベアーズのファーストシリーズは#12垣内から#7勝嶋への20ヤードパスを最初に通し、敵陣に侵入したもののイーグルスディフェンスに2サックを浴びパントで終了する。

変わってイーグルスのファーストシリーズは自陣5ヤードからという厳しい場所からのスタートとなった。#9熊谷のランを3回試みるもファーストダウン更新には至らずパントで終了。

続くマーベアーズの攻撃は敵陣38ヤードからという好位置からの開始、反則で後退するもまたも#7勝嶋へのパスでレッドゾーン近くまで前進するが、イーグルス#3剣持がサック、敵陣30ヤード地点から47ヤードのFGを狙うがブロックとなり、先制とはならず。

自陣37ヤードからのイーグルスのセカンドシリーズ、#20葛西、#9熊谷、#46三島のランで4thダウンギャンプルしながらもファーストダウン更新を重ねていく。

2Qに入り、そのままイーグルスはランで前進していくが、最後は#5館から#91扇への26ヤードパスが通りタッチダウン、TFPも#9熊谷がキックを決め7-0と先制する。

前半残り少ない時間からマーベアーズの攻撃、#7勝嶋の43ヤードランで一気にレッドゾーン近くまでボールを進める、イーグルス#3剣持のサックなどでやや後退するも#12垣内から#1押谷、#2久保田へと立て続けにパスを決めTD、しかしTFPで#2久保田の蹴ったボールはイーグルスがブロックし、イーグルス7-6で前半を終了する。

マーベアーズのキックで後半開始、イーグルスはランプレイ中心に攻めるがファーストダウン更新を続けられない、マーベアーズも同様で膠着状態となるが、マーベアーズが自陣24ヤードからの攻撃でセンターがワイルドスナップ、大きく後退し、その後パントするもイーグルスは敵陣27ヤードからの攻撃という絶好の追加点の機会を得る。#20葛西のランでファーストダウンを更新し、敵陣11ヤードまでせまったところで3Qが終了。

ここで#5館がパスを投じるもマーベアーズ#1押谷がインターセプト、イーグルスは追加点とはならず。マーベアーズは自陣13ヤードからランとパスをバランスよく使い、敵陣40ヤードまで迫る。しかし4thダウンギャンプルで投じたパスをイーグルス#10三島がインターセプト、逆転の芽を摘まれる。

代わってイーグルスの攻撃は#9熊谷、#20葛西のランを中心にファーストダウン更新を続け、敵陣21ヤードまで迫るも、4thダウンギャンプルを失敗、残り少ない時間でマーベアーズの攻撃となる。しかし残り少ない時間から得点をあげた前半の再現とはいかず、#12垣内の投げたパスを再度#10三島がインターセプト。

イーグルスが7-6で辛くも勝利。

イーグルスはランオフenseがいつものようには出させてもらえず、要所で投げていたパスもあまり通すことができず、ロースコアリングとなったがディフェンスが2回のインターセプト、6サック、2回のキックブロックで勝利に導いた。

マーベアーズは20ヤード以上のパスを4回成功させるなどパスオフenseが目立ったが、6サックを浴びるなど、イーグルスディフェンスに手を焼き、複数回のセンターからのワイルドスナップや反則でフィールドポジションを悪くしてしまい、僅差での敗戦となった。